

**【事務事業調査】**

事務事業名	廃食用油BDF*1事業費			予算科目コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
					001 - 040201 - 003 - 01 - 04 - 0
担当部課	住民生活部 環境課	担当 リーダー	環境担当 金澤公二	事業の分類	既存事業

\*1: BDF(ビーディーエフ)、バイオディーゼル燃料、使用済みてんぷら油などを原料として精製されたディーゼルエンジン燃料です。原料が植物性なので、CO2の排出量はカウントされません。

**事務事業の概要**

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	学校給食センターや一般家庭で排出される廃食用油をバイオディーゼル燃料(BDF)にリサイクルして、公用車(給食配達車)の燃料にします。	一般家庭では、通常可燃ごみとして排出される廃食用油をBDFにリサイクルすることにより、可燃ごみの減量化に寄与することはもとより、町民のリサイクル意識高揚及び化石資源の使用削減等の効果が期待できる。
実績	学校給食センターから2,857、一般家庭から766の廃食用油を回収して、3,623の原料から3,150のBDFを製造し給食配達車2台分の燃料に利用した。一般家庭の回収については、町の環境学習施設であるエコ・ハウスたかねざわを回収拠点として各家庭から持ち込んでもらった。また、今年度から町内の小中学校に協力してもらい、一般家庭の廃食用油を学校に持ち寄って回収する仕組みを構築した。	廃食用油を廃棄処分せず、バイオディーゼル燃料にリサイクルすることで、可燃ごみの減量化に資するとともに、化石燃料の使用量の削減が図られ環境負荷の軽減が期待できる。また、このような取り組みを住民や児童生徒の参加のもとに実践することで、リサイクル意識の高揚を図ることができ、環境学習にもつながった。

**活動指標**

指標	目標値	達成値	特記事項
廃食用油処理量	2500	3623	

**事業費(計画)**

細 節	金 額
1 消耗品費	274,000
2 委託料	315,000
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	589,000

**事業費(当初予算)**

細 節	金 額
1 消耗品費	274,000
2 委託料	315,000
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	589,000

**事業費(実績)**

細 節	金 額	特記事項
1 消耗品費	260,377	
2 委託料	325,500	
3		
4		
5		
6		
7		
8		
	585,877	

**事業経費**

		計 画	実 績	特記事項
予 算	当初予算額		589,000	
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額		589,000	
決 算	決算額		585,877	
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源		256,000	BDF使用料
	計	0	256,000	
	差引(一般財源)	589,000	329,877	